

拓殖大学北海道短期大学 OPEN CAMPUS

令和4年7月23日(土) 参加報告と生徒募集のお願い

拓殖大学北海道短期大学は、拓殖大学の伝統である開拓精神を継承し、フロンティアの地北海道深川市で実践教育、人間教育に56年間取り組み続け、特に地域社会との連携が深く、地元住民から愛され、各団体、企業からはその活動を高く評価されています。また、北海道内では多くの政財界人を輩出してきた実績があります。

去る7月23日(土)に令和4年度第3回目のオープンキャンパスが開催され学友会北海道連合会札幌支部より、浅野 憲拓姉(北海道メープル代表・学部67期)と小生、大館一生(学部67期)が、また当日は拓殖大学北海道短期大学同窓会の総会も開催されたことから、北短大13期・同会副会長でもある木幡光範旭川支部長(学部80期)と北短大1期・北海道連合会相談役大森 真(学部68期)の諸拓兄も支援協力と大学の活動視察を兼ね参加いたしました。

今年度の新入学生募集はコロナ禍の影響もあり、年明けの一般選抜、特に毎年35名程度の在籍のあった留学生の激減により、前年を上回る募集定員割れという厳しい結果となりました。現状、そして先々を考えた場合には何としても入学定員数を確保しなければなりません。それを踏まえて、大学関係者の懸命な知恵と努力により今回のオープンキャンパスが開催されました。

北海道の各大学の実態は少子化の荒波に揉まれ、存亡を掛けての大変厳しい争奪環境におかれていることを感じました。この伝統ある灯を絶やさないために北短大教職員は一丸となって学生募集に取組んでいることが窺えました。学校法人拓殖大学もその活動を支えるべく、支援に取り組んでいることです。



我々学友会北海道連合会10支部も微力ながら何が出来るか!

6月10日に開催した北海道連合会支部長会議で各位の協力のもと、北短大の再生に向か、地元北海道連合会が先陣を切って北短大支援にあたることが全会一致で合意されました。

重ねて申し上げますが、北空知納内町の地に開校して56年の歴史を数え、北海道深川市のシンボルである北海道拓殖短大が存続の危機を向かえています。これを守るべく拓殖大学学友会の総力を挙げての支援を全国学友諸拓兄姉に呼び掛けさせていただきます。

具体的活動としては、身近に教育機関の関係者、知人友人関係の子弟に就学者がいる場合には紹介・仲介等、北拓大と相談しながら進めて行きたいと思っております。

北短大だけでなく首都、拓殖大学も受験者が減少しております、各大学、私学経営の厳しさと環境条件は同等と思われます、来年度15,000名以上の受験者獲得、目標達成を掲げる拓殖大学を北短大と共に、学友会全国9連合会で支援の輪を拡げ、“ALL拓大”的力を発揮し、母校飛躍の力となれれば、これに勝る喜びはありません。

学友皆様の人脈をお借りし旧制大学の歴史に相応しい大学として不動の地位を構築いたしますよう、ご支援ご協力ををお願い申し上げます。

令和4年7月吉日

拓殖大学北海道連合会 代表 大館一生 学67期



小柳吉次氏(65期) 出展
第75回記念NIKI2022

二紀展

10.19wed~31mon 国立新美術館

国立新美術館開館15周年記念 李禹煥
75th NIKI EXHIBITION Paintings & Sculptures 2022



東京都港区六本木7-22-2

展示室1C/1D/2C/2D/3B/野外展示場C/D

10/25(火)休館/開会時間10:00-18:00

10/31(月)は14:30閉会 入場は閉会の30分前まで

アクセス: 東京メトロ千代田線乃木坂駅 青山霊園方面改札6出口(美術館直結)、東京メトロ日比谷線六本木駅 4a出口から徒歩約5分、都営地下鉄大江戸線六本木駅 7出口から徒歩約4分

*美術館に駐車場はございません

名古屋展	2022年12月6日~11日	愛知県美術館
広島展	2023年1月24日~29日	広島県美術館
京都展	2月21日~26日	京都市京セラ美術館
福岡展	3月7日~12日	福岡市美術館
宮崎展	4月16日~23日	宮崎県立美術館
長崎展	5月(開催予定)	長崎県美術館
浜松展	5月23日~28日	クリエート浜松
金沢展	6月6日~11日	金沢21世紀美術館

[東京展開期中お問い合わせ]

国立新美術館公募展案内ダイヤル Tel.03-6812-9921